

TAJIMI TOHTO LC

明日に向かって

1994 第1号

発行日 平成6年2月25日
 発行 多治見陶都ライオンズクラブ
 責任者 宮地憲康
 事務所 多治見市豊岡町3丁目29番地
 TEL <0572> 25-8920
 FAX <0572> 24-0778

6ヶ月を経過して

会長 山内正勝

早いもので7月に役不足ながら会長をお受けしてからもう6ヶ月を経過いたしました。

本年からはクラブの実質的な活動が始まります。

各委員の方々も先輩クラブの活動を参考にされてもそのままでは?、なんとか多治見陶都LCらしさをと、ご努力されていらっしゃるのではないのでしょうか。

もちろん歴史は一日では出来ませんが、これからの皆さま方のこのような努力の積み重ねが私たち多治見陶都LCの歴史として自然に積み重ねてゆき、クラブのカラーとなるものと思います。

私どもにはLCとしての経験は勿論すくないのですが、これは活動を新鮮に見る目をもっているともいえます。

私どもの陶都ライオンズクラブの若さ、実行力などの秘めた特性をどう生かし、これをどういうふうに今後の地域奉仕につなげていくのかよく話あおうではありませんか。

私はライオンズの神髄はやはり友にあると思います。

同じような年代で未だ十分ではないにしても地域のいろいろな問題に対して、いろいろの角度、立場からザックバランな話ができ、これをまた地域にもどして役立てる。

地域に対する奉仕、協賛にしても「金は出す

が口はださん」から、プランニングから共に考えるような部分があってもよいのではないのでしょうか。

現在のような、世界的な景気後退の時期にはむしろ従来の方法を継続することのほうが困難が多いかもしれません。

かつてのような高度成長を望めず、むしろ縮小均衡の時代にあっては、いろいろの事業、事態に於いても効率的配慮が必要と思われます。

時代はいつも動いておりますが、今から今世紀末は経済的にも政治的にも非常に変化の激しい時代であると私は思います。

これを先を読みながら乗り切る、これは最高のゲームではないのでしょうか。

殺すより盗むがよい、盗むよりだますがよいこの言葉はサー・ウィンストン・チャーチルの言葉です。

まあ東インド会社をつくり、阿片戦争をしかけたアングロサクソンらしい言葉かもしれません。

日本の景気は日本だけで解決できる時代ではありません、他民族の思考を知ることも大切であると思います。

世界の未来は進むだけ進み。

その間幾度か争いは繰り返されて、最後の戦いに疲れる時がくる。

そのとき、人類はまことの平和をもとめて、世界的な盟主をあげねばならない。

この世界の盟主なるものは、武力や金力ではなく、あらゆる国の歴史を抜き超えた、最も古

く、また尊い家柄でなくてはならぬ。

世界の文化はアジアに始まって、アジアに帰る。

それはアジアの高峰、日本に立ち戻らねばならない。

我々は神に感謝する。

我々に日本という、尊い国を作っておいてくれたことを……

A・アインシュタイン

Y E 陳伶倩さんを迎えて

Y E 委員長 佐藤 宏

7月22日午後2時30分、多治見駅にてホストファミリーを引き受けて下さった小芝さんと待ち合せし、名古屋へ陳さんを迎えに向う。

名古屋駅にて、ブルーのブレザーを着た10人位の集団を見つける。

あの人達の一人が、我々のクラブが引き受ける陳さんだろうと想像し小芝さんと話し合い、丁度小芝さんの奥さんもその場に合流し、奥さんの得意な英語にて聞いてもらい、その通りだった。



初めて見る陳さんは、輔仁大学一年と云う事であるが、どう見ても中学生か高校低学年と云う感じで、化粧もなく、髪は三つ編みである。

取り敢えず自己紹介をし、陳さんの態度はすぐ打ち解け親しくなり、人柄がそうさせたのだろう。

加藤恵一幹事と合流し、多治見へとJRに乗

る。多治見駅にて山内会長、Y E 副委員長加藤清治さん、PR委員長宮地憲康さんが迎えている。それぞれの自己紹介をし、陳さんは小芝宅へ向う。



予定としては、8月1日午前9時30分、名古屋駅での引き渡しまで小芝宅にて日常生活、多治見地区の産業及び名所を紹介し、日本での生活状況を理解し、学んでいただく目的である。

私は7月24日、小芝御夫妻と共に多治見地区の名所案内を引き受ける。

ライオンズクラブでのY E とは、ユース・エキスチェンジの略称で、目的は「世界の人々との間に相互理解の精神をつちかい発展させる」と、青少年交換規定第1章にある。

陳さんは、台湾の高雄に住み、台北の輔仁大学にて景観設計を勉強中と聞く。



24日、多治見名所案内として、まず安土桃山陶磁の里にて、マグカップ1個を作陶する。

出来上りは2ヶ月後と聞く、出来上がり次第陳さんへ届けることを約束する。

修道院を見学し、永保寺へと向う、事前に連絡してあったため、待合室で数分待ち、隠待に

案内してもらって隠殿へと足をはこぶ。

同席者は、山内会長、HF小芝さん、私、陳さん、小芝さんの奥さんである。

奥さんは通訳の大役を兼ねて、中村老師と相対しお話しをする。

老師は台湾人の陳さんのために、台湾での生活、永保寺の歴史等をわかりやすく説明された。

外は小雨が降り、隠殿から見る日本庭園は情緒にあふれ、静かな風情があった。

若い陳さんはどれも興味深く見聞きしている様子で、通訳の小芝さんの奥さんに色々と質問していた。

老師様より出された薄茶を陳さんは大変気に入った様子でした。

中村老師の所を出て、永保寺の国宝観音堂、開山堂を、雲水の案内と説明を聞きながら、小雨の中傘をさして永保寺庭園を含め見学する。

永保寺を出て、多治見文化会館にての春翠書院展を見て帰路につく。

陳さんは、台湾に於ける生活と、現在見てまわる日本の風景、生活と比較しながら色々と考え、感じられた事でしょう。



8月1日朝8時、多治見駅にて山内会長、加藤恵一幹事、PR委員長宮地憲康さん、YE副委員長加藤清明さんの見送りを受けながら、小芝御夫妻と、小芝さんの娘さんと私が名古屋駅まで見送った帰りの電車の中で、陳さんは、毎日の生活態度は大変真面目で、礼儀正しい娘さんであったと感想を話されておられました。

陳さんが、滞在した7月22日から8月1日までの短い間の体験が、陳さんの今後の勉学に役立ち、台湾と日本、多治見陶都ライオンズクラブとの掛け橋となっていただけるだろうと思います。

また、我々のクラブが初めて迎えたYE陳さんが来日したしと云う記録は今後我々のクラブに永く記憶に残るでしょう。

環境問題のイロハ

保健環境保全委員長 伊藤孝司

最近、環境問題が大きくクローズアップされてきましたが、身近なことなのに知らないこと気付かないことが沢山あります。

そんなことを色々並べてみましたので、一度家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

データ編

1. 温暖化の大きな原因である二酸化炭素濃度は、1800年頃の280PPMからそのまま推移すれば、2000年頃には350PPMになるといわれている。
2. 現在、日本上空におけるオゾンの減少率は3%といわれている。オゾン量が20%減れば有害な紫外線量は50%増え、皮膚ガンは2.5~3.5倍に増えるといわれている。2000年迄にオゾン層破壊の原因であるフロンの使用を全廃したとしても、直なくなるわけではなく、数百年という時間をかけて緩やかに減少していく。
3. 酸性雨の影響で、二酸化炭素の吸収源である森林が消滅してきている。チェコスロバキアでは70%の森林が影響を受けている。
4. 大気汚染に影響の大きい自動車の数は、昭和45年の3倍に達している。大気中に排出される化学物質には発ガン性があり、年間2000人のガン死を引き起こすといわれてい

- る。
5. 海上で発見された浮遊物の60%をプラスチック類が占めていて、死んだウミガメの76%は好物のクラゲと間違えてプラスチック類を食べていたという報告がある。
 6. 海洋汚染の最大の原因は油であり、そのほとんどが船舶から投棄されたものである。油汚染は、海洋生物への影響はもちろん、汚染魚介類を通して動物や人間の健康障害を引き起こしている。
 7. 日本の湖沼・内湾のうちで、環境基準を達成している割合は46%と言われ、生活排水中の窒素・リンが富栄養化をうながす。富栄養化が進むと水中の溶存酸素量が不足し魚介類は死滅し、永く異臭を放ち水質は悪化の一途をたどる。
 8. 富栄養湖の割合は、人工湖岸になるほど高い。湖岸がコンクリートで固められると、水辺の生態系が破壊され、浄化作用が失われ汚染が進行する。100%人工湖岸の諏訪湖では、沿岸の水生植物が完全に死滅し、水鳥の種類が半減した。
 9. 洗剤汚染が進んでいるが、日本における平地面積あたりの洗剤の消費量は世界一である。
 10. 河川の汚れの原因の1位は生活排水。そのなかでも台所排水の割合が高い。使用済み天ぷら油1リットルを魚の住める水に戻すには、風呂桶330杯の水が必要である。
 11. 東京都の水道水から検出されたことのある有機化合物は60種類に及ぶ。農薬や合成洗剤のように水に溶けやすいものはすどろりしてしまふ。原水の水質改善のために投入される塩素の量は30年代と比較すると5倍近くになる。
 12. 人口が10億人を超えた時点から加速度的に絶滅する動物が増えた。現在は年に4万種という恐ろしいスピードで生物種の絶滅が進行している。絶滅要因の67%が生息環境の破壊・悪化である。
 13. リゾート開発により、環境が破壊されている。100haもの山を切崩して造るゴルフ場は森林破壊の最たるものである。ゴルフ場の総面積は佐渡ガ島の2倍を超える。また芝生を維持するために農地の3倍～6倍の農薬が散布されている。
 14. 過剰放牧・過剰耕作等の人為的要因で砂漠化が進んでいる。毎年600万ha(四国と九州を合わせた広さ)が砂漠化している。また砂漠化には至らなくても、乾燥により生産力の低下してきている土地が、毎年2100万haもの割合で増え続けている。
 15. 熱帯林の破壊が進んでいる。このままだと2030年頃には全て破壊されるだろうといわれている。熱帯林が破壊されると、そこに住む無数の生物が絶滅し、二酸化炭素の吸収が減少することから地球の温暖化が加速し、気候の変動に影響を与える。
 16. 毎年1000万haの森林が減少し、造林は100万haにしかすぎない。
 17. 途上国はエネルギー源を木材にたよっている。熱帯木材の80%が自国内で燃料に使われている。
 18. 日本の木材需要率は30%をわり、最大の熱帯木材消費国になった。輸入木材の約15%が熱帯材である。丸太の50%近く、製材の10%近くを輸入し、その90%は東南アジアからのものである。
 19. 戦後ガンがこれほど増加したのは、体内に取り入れられる人工化学物質の量が増えたのが原因の一つに上げられる。食品として取り入れられる主なものは、農薬と添加物である。農薬の生産は1950年代から比べると3倍近くに増えている。また使用量としてはアメリカについて2位であるが、単位面積当たりの使用量は10.8キロと2位のヨ

- ーロッパの約5.7倍でトップである。
20. 温暖化による乾燥・酸性雨などによる環境や過剰耕作によって土地の劣化が進んでいる。環境悪化による穀物生産に及ぼす影響は年間で1400万トンとも言われ、そのうち土地の劣化によるものは900万トンといわれる。
 21. 日本の食糧はかなり外国に依存している。日本のカロリー自給率は年々低下し現在は50%をわっている。そんななかでも環境破壊により生産量は伸び悩み、人口は増加の一途をたどっているために、一人当たりの穀物生産量はかなり低下することが予想される。そんななかでも日本の農業従事者は35%が65才以上で、新規学卒就農者数は、昭和38年の僅か1%と激減している。このまま何もしなければ確実に食糧危機はおとずれる。
 22. 日本における一般ゴミの排出量は1989年において4647万トン。2トンづみの収集車で63500台、東京ドーム125杯分にもなる。通産省の試算によると、一般廃棄物は7.1年、産業廃棄物は4.5年でゴミを処分する埋立地を満杯にする。首都圏における埋立地の残余容量は、一般廃棄物で4.2年、産業廃棄物で0.8年である。
 23. 都市部でのゴミの増加率は全国平均の倍ちかい。その背景はオフィスなどから出る事業系のゴミである。コンピュータの打出用紙・複写機用紙の販売量は57年～63年の間だけでも倍ちかい増加が認められる。
 24. 有害廃棄物は規制が厳しく、適正処理に費用がかさむため、発展途上国への輸出が多い。処理技術のない途上国は外貨獲得のためにこれを輸入し環境破壊を招いている。日本の有害物質の指定は10種類だけで、ドイツの45種類、アメリカの450種類と比較してはるかに少ない。
 25. 有害廃棄物は、産業廃棄物として発生する場合にのみ処理の基準が設けられているが家庭などから出される一般廃棄物には基準がない。例えば、乾電池や蛍光灯などには有害物質に指定されている水銀が含まれているが、普通ゴミと一緒に焼却・埋め立てされている。
 26. 日本では、ゴミの資源化率は4%と低く、殆どが焼却と埋め立てにより処理されている。特に日本は国土が狭く、埋立地の確保も難しい。そのうえ、周辺住民の同意を得るのが難しく、ゴミ減量のために大量のゴミが焼却されている。ゴミ焼却による一酸化炭素の排出量は全体の5%を占める。
 27. プラスチックの消費量は年々増加しているが、種類が多く分別が難しいため、リサイクルが困難である。しかし焼却すれば焼却炉を傷め、有毒ガスを発生し、埋め立てれば、かさばり分解しないため地盤が安定しない。
 28. ゴミの増加の背景には、大量生産・大量消費・大量廃棄の資源浪費構造がある。ゴミを減らすためには省資源・省エネルギー型のリサイクル社会の建設が必要である。52年～62年の間において、アルミ缶の販売数は4倍に増えたが回収率は2倍ぐらいである。しかしアルミ缶を再生するのに必要な電力はボーキサイトから精練するときの電力の3%ですむ。
 29. 世界の人口の2.5%でしかない日本のエネルギー消費量は、世界全体の5%で、アメリカに次いで2位である。しかし、99.7%を輸入に頼る石油をはじめ、エネルギーの海外依存度は82%である。
 30. 日本では、電力需要の殆どを化石燃料に依存している。しかし、中東情勢や、地球環境保護の要請などから、石油依存度を下げることが至上命令である。そのため、日本で

は、二酸化炭素を発生させない原子力発電を推進していく方針を立てている。2010年までには原子力発電の比率が現在の8.9%から16.9%にする予定である。これによって100万kwの原発40基が新設されることになる。然し原子力発電所から出された低レベルの放射性廃棄物は89年までに既にドラム缶47万本に達している。青森県六ヶ所村に建設中の貯蔵センターには300万本の放射性廃棄物を貯蔵する予定ではあるが、これを、未来永劫にわたって管理していくことは可能なのだろうか。

さわらび学級へ視聴覚機器贈呈

教育福祉委員会 末松 敏彦

生涯教育と言われる現在ですが、一方現在の社会情勢は益々複雑多用化され、教育現場においては、学校も親も子供達も本当にむつかしくなっているのが現状です。

この様な中で、登校拒否の児童生徒は増加状態にあり、今後大きな問題であると思います。

このような時期に多治見市教育委員会は、さわらび学級をつくり、父母や学校への援助をはじめ、児童生徒への適応指導を進めていることは誠に意義深く、現代の教育の重要な位置を占めていると思われま



そこで我々、多治見陶都ライオンズクラブは教育福祉委員会のアクティビティ事業の一環として、テレビ・ビデオを贈呈し、今後のさわら

び学級の充実と適応指導教育実践の向上を念願している。

編集局便り

今年も宜しくと言っても、昨年中当編集局はとっても忙しくて開店休業……

年が明けて、心機一転、あと6ヶ月で第2回の会報をつくらねば……

不景気風の吹き荒れる中、新しい年が明け、ちった世の中良いことでも起こるかと思えばとんでもない、大火災に地震、最後には参議院で大波乱、どうも暗い年の幕開けか？

さて、そんな事とは別に、半年前に計画した委員会事業は着々と実行されています。

2月には、保健環境委員会の事業が行われま

す。中学校の生徒達の環境問題に関する意識度の高きには驚かされますよ。小冊子が楽しみです。

3月には、研修例会(一泊旅行)が計画されています。今から予定して下さい。

鳥羽の魚は多治見のとはチョット違うよ、生うに(生きてるうに)は絶品、しかし予算次第？ホテルもGOODです。編集局長がチェック済み。おっと研修例会でしたね？ゴルフは？

また、3月になるとそろそろ次の年度？頑張れL尾関。

ところで、一年と半年、皆さん忘れてませんか？チャーターナイトの記念事業、毎晩9時に聞こえるんですよ。微笑みつ別れ……そうですライオンズの「また逢う日まで」です。以前の市民センターの上で頑張ってるよ。夜の会合の帰りにチョット車の窓を開けてみて下さい、聞えますよ。

当編集局は極めて多忙な為、メンバー諸兄からの投稿を切に期待しています。